



教会短信

2015年2月8日

No. 61

牧師 間瀬 善彦

先日知人から映画のチケットをいただいたので見に行きました。『ふうけもん』という映画です。“ふうけもん”とは、佐賀弁で「バカ」という意味だそうです。主人公の役を中村雅俊が演じましたが、とても良い映画でした。主人公は、ヤクザの道にまで入ってしまいます。執拗に借金の取り立てをしたので自殺者まで出してしまう、心に痛みを感じます。そんな主人公が、宣教師と出会って生き方が変わり、“便利屋”となって、今度はひたすら他人のために生きる“ふうけもん”になりました。ドブさらいから、時には死体の処理、孤独な老人の話し相手など、現代社会が抱える人間の寂しさや家族関係が、便利屋稼業を通して描かれていました。

わたしはこの映画を見て、たくさんの人との出会いの素晴らしさ、そして人はみな弱さをかかえて、助け合って生きる存在であることを改めて考えさせられました。この主人公のように喧嘩が強く、外から見たら強そうにみえても、人はみな弱く、寂しく、孤独な存在です。

エリコの町にザアカイという人がいました（ルカ福音書 19章 1～10節）。彼は、ローマ帝国の権力をかりて、税金を徴収する人で、金持ちでした。彼は、執拗に税金を取り立てるので、人びとから嫌われていました。いくら金持ちでも人柄が悪ければ、だれもまともに付き合おうとはしません。そんな時、イエスがエリコの町を通られました。彼は人びとの間で評判のイエスを一目見ようと、先回りして木に登りました。背が低く、群衆にさえぎられて見るができなかったからです。イエスはその場所に来ると、ザアカイを見上げ、「**ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい**」と言われました。ザアカイは、急いで降りて来てイエスを迎えました。だれもまともに相手にしてくれなかったザアカイに話しかけ、彼の家に来て泊まりたいとイエスは言われたのです。それは、ザアカイの家に救いが訪れた瞬間でした。ザアカイは、実は孤独だったのです。寂しくて、寂しくて、だれかと話したいと思っていました。しかし、彼にもプライドがあって、その気持ちを自分から言い出すことができなかったのです。ザアカイはイエスと出会って大きく変えられました。そして、彼は自分から「わたしの財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します」と言うようになったのです。

1人でも多くの人に、イエス・キリストと出会い、人生が変えられる体験をしていただけたらと思います。

証し

少し喉の調子が悪い、しゃべると喉が痛くなる、せきが出ると止まらなくなり、夜になると息苦しくなる、このような状態が6か月続きました。とうとう医師から喘息と診断されました。ショックでした。なんとか喘息の苦しさが軽くなるように、ハチミツに大根を漬けた汁を飲んだり、れんこんのど飴を買ってきたり、夜は喉のあたりを暖めたりと、あれやこれやと試しているうちに、……。

わたしの母も喘息で、喘息にきくというものは、あらゆる治療をしていたことを思い出しました。何事もわが身に降りかからないと、わからないとはいえ、わたしは母の苦しさが今までわからなかった、本当に恥ずかしくなります。かえりみると、せき込んでいる母の背中を一度もさすってあげたこともない、苦しかったろう。その上わたしは仕事をしていたので、娘たちが幼いころ風邪などひいたとき、病院に連れて行ってほしいと何度頼んだことか。母は嫌な顔をひとつしないで、父と2人で病院に連れて行ってくれました。何と親不幸者であったことか、今は天国に向かってしか言えないが、お母さん、ごめんなさい。

教会では、水曜日の晩、聖書研究があります。1日の仕事も終わり、静かな学びは格別なものです。今年1月の学びのとき、聖書の「老人は夢を見、若者は幻を見る」（ヨエル書3章1節）の聖句を学びました。実はこの聖句は、わたしが30代のとき、当時の牧師がこの言葉を言ったのを覚えています。どうして老人が夢を見るのだろうかとずっと不思議に思っていました。1月の聖書研究のときに、このずっとわからなかった聖書の言葉の意味を牧師に教えてもらいました。

年を取ると、自分の過去の追憶に溺れやすい、……。これは本当にそうだと思います。いつまでも過去にとらわれていては、これからの人生を豊かに歩めません。

「老人は夢を見」という言葉は、将来に向かって前向きに生きていくことだと教えられました。この意味がやっとわかったのです。わたしのこれからの人生に1つの道しるべが与えられました。

わたしは喘息という病気をかかえても悲観せずに、これからの人生を希望を持って、前向きに生きていきます、と天国にいる両親に語りかけることができました。

K. M



イースター復活祭 記念礼拝のご案内

2015年4月5日(日)
10:30~12:00



どなたでもお気軽にご参加ください。
教会員一同、心からお待ちしております。

イースターは、

「移動祝日」です。年毎に日が変わります。基本的には、春分の後の最初の満月の次に来る日曜日です。満月が日曜日になったら、次の日曜日に復活祭を行います。

キリストが十字架にかけられて殺され、埋葬された後、3日目の日曜日の早朝に復活されたことをお祝いする日です。キリスト教会では、キリストが復活された日曜日を「主の日」と呼んで、教会に集まり礼拝をします。

キリスト教会では、イースターは、クリスマスよりも大切な日です。それはイエス・キリストが復活されなければ、わたしたちに希望がないからです。キリストは神の力によって死に打ち勝ち、復活されました。ですから、今も生きてわたしたちと共にいてくださるのです。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

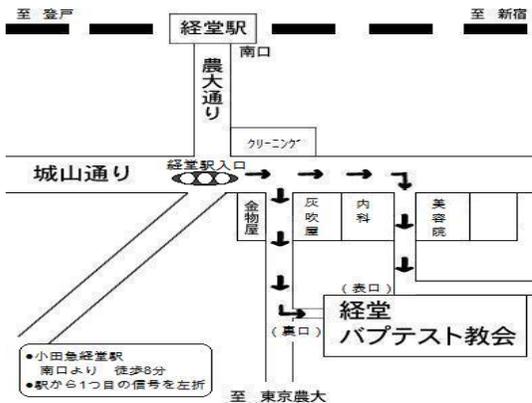
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。